

令和4年度

公営企業会計決算資料

産業労働部

項 目 頁

公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

1	損益収支の状況	1
2	今後の経営状況	2
3	事業収益の状況	3
4	事業費用の状況	4
5	企業債残高の推移	5

令和4年度 福井県公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

1 損益収支の状況

令和4年度の公営企業会計については、工業用水道事業会計以下4会計の純利益は合計で6億5,738万2千円となった。

工業用水道事業会計の事業収益は、7億5,978万1千円、事業費用は6億2,465万9千円となり、純利益は、1億3,512万2千円となった。この純利益については、今後の建設改良の財源として建設改良積立金に全額を積み立てる。

水道用水供給事業会計の事業収益は、31億7,779万8千円、事業費用は28億8,413万2千円となり、純利益は、2億9,366万6千円となった。この純利益については、減債積立金に1億4,603万6千円を積み立てるほか、建設改良積立金に1億4,763万円を積み立てる。

臨海工業用地等造成事業会計の事業収益は、6億9,588万7千円、事業費用は5億6,560万2千円となり、純利益は、1億3,028万5千円となった。この純利益については、前年度繰越利益剰余金と合わせて翌年度に繰り越すことにより、翌年度繰越利益剰余金は12億3,782万8千円となった。

臨海下水道事業会計の事業収益は、11億5,666万5千円、事業費用は10億5,835万6千円となり、純利益は、9,830万9千円となった。この純利益については、建設改良積立金に全額を積み立てる。

「その他未処分利益剰余金変動額」については、工業用水道事業会計、水道用水供給事業会計、造成事業会計および臨海下水道事業会計の全ての会計について全額を資本金に組み入れる。

(単位:千円)

会 計		工業用水道事業	水道用水供給事業	臨海工業用地等 造成事業	臨海下水道事業	合 計
区 分						
事業 収 益	営業収益	721,647	2,732,777	693,129	832,908	4,980,461
	営業外収益	38,134	445,021	2,758	323,757	809,670
	計	759,781	3,177,798	695,887	1,156,665	5,790,131
事業 費 用	営業費用	624,652	2,765,233	565,602	1,058,187	5,013,674
	営業外費用	7	118,899	0	169	119,075
	計	624,659	2,884,132	565,602	1,058,356	5,132,749
純 利 益		135,122	293,666	130,285	98,309	657,382
前年度繰越利益剰余金		0	0	1,107,543	0	1,107,543
その他未処分利益剰余金変動額		62,078	591,903	30,167	860	685,008
当年度未処分利益剰余金		197,200	885,569	1,267,995	99,169	2,449,933
利益剰余金処分案		197,200	885,569	30,167	99,169	1,212,105
(1) 減債積立金		0	146,036	0	0	146,036
(2) 建設改良積立金		135,122	147,630	0	98,309	381,061
(3) 土地造成積立金		0	0	0	0	0
(4) 資本金		62,078	591,903	30,167	860	685,008
翌年度繰越利益剰余金		0	0	1,237,828	0	1,237,828

2 今後の経営状況

県営第一工業用水道事業については、安定した経営状況となっており、今後とも施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

福井臨海工業用水道事業については、料金単価の改定に伴う給水収益の増加により経営は安定しており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

坂井地区水道用水供給事業については、順調な経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

日野川地区水道用水供給事業についても、順調な経営状況となっており、今後とも施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

臨海工業用地等造成事業については、公共用地の転用による新たな産業用地を拡充する造成工事を段階的に行っている。今後とも関係部局と一層の連携を図りながら、新たな企業の誘致により造成区画の売却に努めていく。

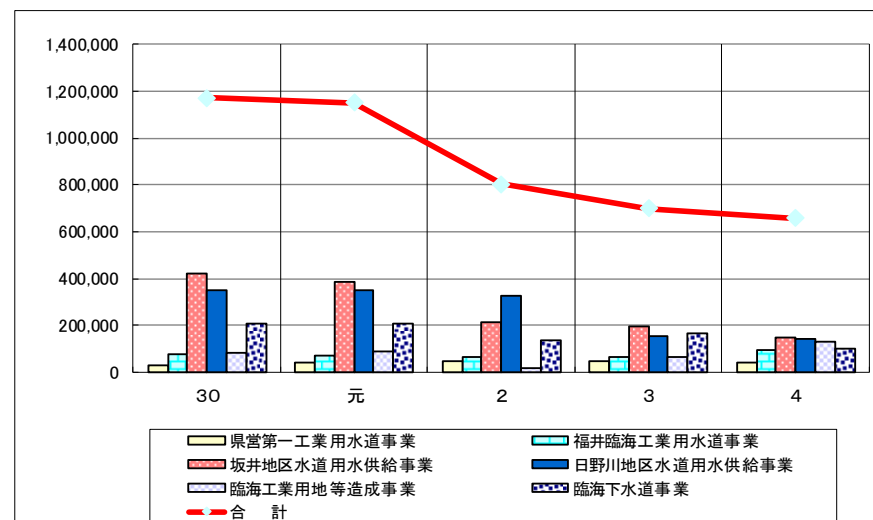
臨海下水道事業については、安定した経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

公 営 企 業 の 純 利 益 の 推 移

(単位:千円)

会 計 \ 年 度	30	元	2	3	4
県営第一工業用水道事業	29,035	41,828	46,495	48,418	40,553
福井臨海工業用水道事業	76,346	72,929	62,862	67,665	94,569
坂井地区水道用水供給事業	420,105	388,081	211,653	197,476	150,794
日野川地区水道用水供給事業	352,415	350,383	327,710	155,956	142,872
臨海工業用地等造成事業	84,240	87,506	17,639	62,310	130,285
臨海下水道事業	208,002	209,443	136,391	166,505	98,309
合 計	1,170,143	1,150,170	802,750	698,330	657,382

(単位:千円)



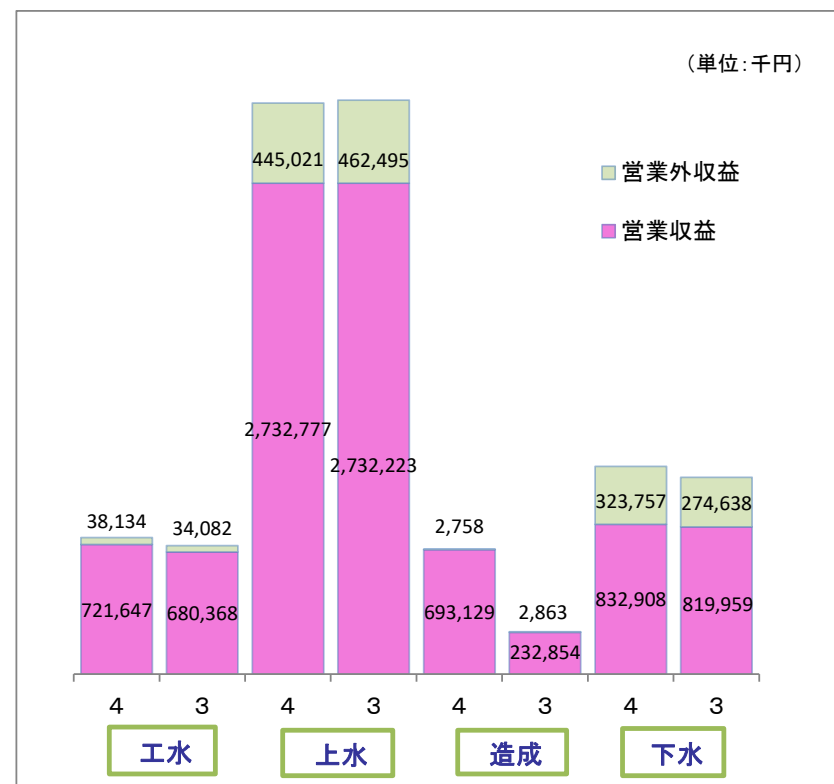
3 事業収益の状況

営業収益は、料金収入や土地売却収入を計上している。令和4年度の営業収益は、4会計合計で49億8,046万1千円となり、前年度に比べ5億1,505万7千円増加した。これは主に、臨海工業用地等造成事業の土地売却収入の増加によるものである。

営業外収益は、受取利息や補助金等を計上している。令和4年度の営業外収益は、4会計合計で8億967万円となり、前年度に比べ、3,559万2千円増加した。これは主に、臨海下水道事業の長期前受金戻入益が増加したことによるものである。

(単位:千円、%)

区 分 \ 年 度		4	3	対前年度比	
				増減額	増減率
工水	営業収益	721,647	680,368	41,279	6.1
	営業外収益	38,134	34,082	4,052	11.9
	合計	759,781	714,450	45,331	6.3
上水	営業収益	2,732,777	2,732,223	554	0.0
	営業外収益	445,021	462,495	△ 17,474	△ 3.8
	合計	3,177,798	3,194,718	△ 16,920	△ 0.5
造成	営業収益	693,129	232,854	460,275	197.7
	営業外収益	2,758	2,863	△ 105	△ 3.7
	合計	695,887	235,717	460,170	195.2
下水	営業収益	832,908	819,959	12,949	1.6
	営業外収益	323,757	274,638	49,119	17.9
	合計	1,156,665	1,094,597	62,068	5.7
合計	営業収益	4,980,461	4,465,404	515,057	11.5
	営業外収益	809,670	774,078	35,592	4.6
	合計	5,790,131	5,239,482	550,649	10.5



4 事業費用の状況

営業費用は、管理運営費や減価償却費、土地売却原価を計上している。令和4年度の営業費用は、4会計合計で50億1,367万4千円となり、前年度に比べ6億326万9千円増加した。これは主に、臨海工業用地等造成事業の土地売却原価の増加によるものである。

営業外費用は、主に企業債の支払利息を計上している。令和4年度の営業外費用は、4会計合計で1億1,907万5千円となり、前年度に比べ1,167万2千円減少した。これは、主に水道用水供給事業の支払利息の減少によるものである。

(単位:千円、%)

年度 区分		4	3	対前年度比	
				増減額	増減率
工水	営業費用	624,652	598,363	26,289	4.4
	営業外費用	7	4	3	75.0
	合計	624,659	598,367	26,292	4.4
上水	営業費用	2,765,233	2,710,938	54,295	2.0
	営業外費用	118,899	130,348	△ 11,449	△ 8.8
	合計	2,884,132	2,841,286	42,846	1.5
造成	営業費用	565,602	173,407	392,195	226.2
	営業外費用	0	0	0	0.0
	合計	565,602	173,407	392,195	226.2
下水	営業費用	1,058,187	927,697	130,490	14.1
	営業外費用	169	395	△ 226	△ 57.2
	合計	1,058,356	928,092	130,264	14.0
合計	営業費用	5,013,674	4,410,405	603,269	13.7
	営業外費用	119,075	130,747	△ 11,672	△ 8.9
	合計	5,132,749	4,541,152	591,597	13.0



5 企業債残高の推移

企業債残高は年々減少しており、令和4年度末は、水道用水供給事業の54億266万1千円となった。

(単位:千円)

会計	区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
上水	企業債残高	7,477,404	6,962,603	6,444,488	5,922,751	5,402,661
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	534,349	514,801	518,114	521,737	520,090

